

大津市立真野小学校

青谷 紘子さん

Profile

滋賀県出身。2019年3月滋賀大学教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース(初等教科専攻図画工作専修)卒業。同年4月草津市立笠縫東小学校、2022年3月大津市立真野小学校着任。現在は4年生を担当。中学・高校時代は陸上部に所属していたが、大学では「新しいチャレンジを」と漕艇(ボート)部に入部。学業と並行して週5日の厳しい練習に打ち込み、大会でも好成績を収める。

図画工作を通じて、児童の心と人生に必要な要素を育んでいきたい

豊かな感情も社会性も育成する図画工作

私はモノ作りが好きで、その魅力を子どもたちに伝えたいと思い、初等教育コースの図画工作を専修しました。教師になって授業で心がけていることは、ゼミの藤田昌宏教授の教えである「まず教師が図画工作の教材、作る、描くことを楽しむこと」です。単に作り方、描き方を教えるのではなく、どこが楽しいのかを伝え、私も一緒に描く、作るようにすると、児童も夢中になって取り組んでくれます。図画工作が得意ではない児童が「もう1枚描きたい、もっと作りたい」と言ってくると、うれしいですね。

図画工作は自分の感情や思考といった内面をアウトプットする作業でもあり、児童が恥ずかしさや拒否・拒絶感を抱かないよう、自由に、安心して表現できる環境・雰囲気をつくり出し、一人ひとりに応じた言葉をかけることも私の使命だと思っています。また、グループやクラスでの共同

制作は、コミュニケーションや役割分担、助け合いが必要。そういった意味では図画工作は社会性や協調性、人間性なども養う重要な科目であることも意識して、授業に取り組んでいます。

子どもとの関わり方の大切さを学んだ学外活動

滋賀大学は専攻以外の科目も学べるので、特別支援教育に関する科目を履修し、特別支援学校教諭1種免許状も取得しました。

在学中はスクールボランティアにも参加しました。多動や不登校といった子どもたちに接したのですが、そういった行動にはその子なりの理由があることを痛感。頭ごなしに注意したりするのではなく、じっくり話を聴くこと、その子の成長に合わせて寄り添うことや、居場所や安心感をつくることなど、一人ひとりとの関わり方を学ぶことができました。



さまざまな活動での経験が試験、教師としての糧に

大学生活では漕艇(ボート)部に所属し、練習や試合に打ち込みました。授業や実習との両立は大変な面もありましたが、毎日が充実していました。教師になった今、児童たちに部活動をはじめ、大学生活での経験を話すことがよくあります。教員をめざす後輩や高校生の方には、部活動やボランティアといった学外活動、アルバイトなどにも取り組んで、いろいろな経験を重ねてほしいと思います。滋賀大学教育学部には、そういった機会が数多くありますから。

教員採用試験合格に向けては、水泳やピアノといった実技も猛練習。教師経験が豊富で、教員採用試験の作成や面接官などを務めた実績も持つOB・OGの皆さんが個々に合わせて親身にサポートしてください。私も小論文の添削、面接や模擬授業で指導いただいたおかげで、志望通り滋賀県の教員採用試験に合格することができました。ぜひ皆さんも、学校の先生になる夢を叶えてください。

